



令和4年度
第273号
令和5年3月
西尾市立三和小学校
山崎 章雄
ホームページ
<http://www.nishio.ed.jp/miwa-sho/index.htm>
ブログ
<http://nishioeducation.lekumo.biz/miwash/>

響き合う

校長 山崎 章雄



よき光
幸せ連れて
すみれ咲く

春のあたたかな日差しを受けて、花壇のパンジーが、幸せを語りかけるように色とりどりに咲いています。

第七十六回卒業証書授与式には、うれしいことがあります。それは、子どもたち一人一人の顔をはつきりと見られることです。

この三年間、新型コロナウイルス対策のため、行事や授業参観を中止したり、始業式や終業式をテレビで行ったりしました。学校生活もずいぶんと変わりました。

しかし、今年度の卒業式では、卒業生、在校生は、声を出す場面以外では、マスクを取ることができるようになりました。人と人が、面と向かい合えることに幸せを感じます。保護者の方々をはじめ、すべての方に心から御礼を申し上げます。

卒業生のみなさん、卒業おめでとう
ございます。

さて、みなさんは、すばらしい姿をたくさん見せてくれました。ここで、三つすてきな姿について振り返ってみます。

一つ目は、あいさつする姿です。

一月に教育委員会の方が、三和小学校を訪問しました。主に授業の様子を見に来たわけですが、その中の一人が、放課の様子も知りたいと六年生の廊下へ歩いていきました。

そして、しばらくすると戻って来て、こう言われました。

「あいさつがすごくできますね。すれちがう子が、みんな、『こんにちわ』と言ってくれます。でも、驚いたのは、それが自然にできていることです。特別なお客さんが来たからではなく、ふだんのあいさつがそのまま出ているようで感心しました。」

その話を聞いて、すごくうれしくなりました。

そういえば、修学旅行のとき、何度もバスを降りりましたが、その都度、運転手さん、ガイドさんに「お願いします。」「ありがとうございます。」を言っていました。一度も欠かさない姿、見事でした。

二つ目は、自分たちで考える姿です。みつわ発表会。六年生の題目は「創」（つくる）でした。音楽に合わせた体操と社会科で学んだ歴史をもとにした劇を見せました。二つとも自分たちで動きを考えたり、台本を創ったりしました。

体操は、四つのグループで、それぞれの動きを考えていきました。

「ねえ、側転するとき、もつと手をびんと伸ばしたほうがきれいに見えるんじゃない。」

武士の合戦の場面の演技では、

「生きるか死ぬかの場面だから、鉄砲隊はもつと必死な表情で演技しよう。」

練習を重ねながら、より良いものにしてと工夫しました。だれかに言われるのではなく、自分たちで意見を出し合って、一つのを創り上げていく姿、立派でした。

三つ目は、相手のことを想う姿です。算数の文章問題がなかなか解けず、

困っている友達がいました。すると、そばに寄って行って、やさしく教え始めました。

「ここまでわかるかな。」

文章を読み解くのは難しいので、ノートに図を描きながら解説しています。ただ答えを教えるのではなく、考え方を伝えていきました。しばらくすると、

を伝えていきました。しばらくすると、教えられた子は、にこにこして、「わかったよ、ありがとう。」と言いました。そして、今度は、「○○ちゃんに教えてもらったから、教えてあげようか。」と他の友達のところへ行きました。

相手のことを想う行動が響き合っていく、すばらしい姿です。

世の中はめまぐるしい速さで変化しています。でも、どんなに時代が変わろうとも大切なのは、想いやりの心をもって、相手と響き合っていくことだと思います。

最後に、「想いやりのある人とは」という詩を贈ります。この詩は、若くして不治の病かかってしまったお父さんが、亡くなる前に、幼い我が子に残した詩です。

想いやりのある人とは
まわりの人が悲しんでいればともに悲しみ
喜んでいる人がいれば、その人のために
いっしょに喜べる人のことだ
思いやりのある人とは
まわりの人を幸せにする
まわりの人を幸せにする人は
まわりの人によって、もつと幸せにされる
世界で一番幸せな人だ
だから、心のやさしい
思いやりのある人に育ってほしい
それが私の祈りだ

卒業生の人生が、これから出会う人と響き合い、幸せいっぱいのものであるように祈っています。

贈る言葉

教頭 中川 智子

卒業おめでとうございます。いよいよ中学校への旅立ちです。

一つ一つの出来事が、今の皆さんをつくってくれました。いろいろな人とのかわりが皆さんの心を育ててくれました。これから始まる中学校の生活でも、周りの人とのかわりを大切にして過ごしてください。

教務主任 伴野 明子

卒業を迎えようとする皆さんを見てみると、下級生に優しく寄り添う姿、行事で輝く姿などが思い出されます。が、私は、何といても、外庭掃除や行事の準備片付けで活躍する姿が、一番心に残っています。気持ちよく行動できることは素晴らしい力です。中学校でも、自分のよさを大切に、自分らしく楽しく進んでいってください。

校務主任 吉崎 俊文

卒業おめでとうございます。皆さんと出会うてわずか一年ですが、修学旅行で一緒に過ごしたときのことをよく覚えていきます。「あいさつ・感謝・助け合い」を合言葉に、自分たちの力で楽しい旅行にしようとして、一人一人が意識して行動している姿が印象的でした。この三つの合言葉は、これから先の皆さんにとっても大切なものです。ずっと忘れずに意識しながら、楽しく生活していってください。

音楽担当 中井 真帆

ご卒業おめでとうございます。みんなとの出会いは二年生。きらきらしたまなざしで元気よく音楽室に来てくれましたね。みんなの思い出の曲は、何といつても「ロンドン橋」です。高学年になっても「先生！ロンドン橋やろう！」と盛り上がりだしていた姿が忘れられません。中学校生活は、勉強に部活に大変ですが、どうせやるなら前向きに、一日一日を大切に過ごしてください。

家庭科担当 岩田 智美

ご卒業おめでとうございます。四年生から三年間、授業を通じてみなさんと共に過ごすことができました。一緒にいろいろな物を作りましたね。思いをこめて真剣に取り組んだり、失敗しても諦めず、粘り強く修正したりする姿にいつも感心させられました。今、みなさんには確かな力がついていると思います。自信をもって中学校へ進んでください。心から応援しています。

令和三年度 五年担任 稲垣 聡乃

ご卒業おめでとうございます。みんなの温かく、優しい雰囲気が好きでした。運動会や自然学習はもちろんですが、日々の何気ない会話や授業が一番心に残っています。初めての出会いが、みんなが本当に良かったです。素敵な時間がありました。これからも、泣いたり笑ったり、いろいろな経験をしながらゆっくり成長していってね。ずっと、応援しています。

令和二年度 四年担任 小野 志織

ご卒業おめでとうございます。「はじめまして」と言った次の日から学校が閉鎖。みんなの写真を眺め、ドキドキしていた新任の日を思い出しました。不安でいっぱいの日々でしたが、皆さんの優しさや元気に支えられていました。本当にありがとうございました。

春からは、中学生。戸惑うこともあるかもしれませんが、大丈夫。自分を信じて、前を向いて進んでください。

令和二年度 四年担任 楠井 幸子

ご卒業おめでとうございます。四年生になったみなさんの生活は、コロナによって変わりました。それでも仲間と協力し、学習はもちろん、そうじも真剣に取り組む姿が思い出されます。

今年、一年生に優しく接してくれました。ありがとうございました。

【青春って、すごく密なので】この言葉のように、楽しく充実した新生活を過ごしてください。

令和元年度 三年担任 山本 徳子

ご卒業おめでとうございます。初めて三和小に来たとき、みんなは三年生でした。初めてのことがばかりで戸惑っている、すぐに声をかけてくれましたね。本当に優しくて明るい子ばかりで、毎日がとても楽しかったです。

みんなは、これからたくさんの人と出会い、学び合い、助け合うことかと思えます。その一つ一つの出会いを大切に、自分の道を歩んでいってください。

表彰

【みつわマラソン大会】

第一位

鈴木 優斗
鈴木 柚菜
渡辺 泰士
大河内結渚
尾崎 斗真
河東 和
角倉 蓮太
今川 佳澄
長崎 太紀
角谷のの香
浅井 仁
犬塚 仁瑚

【西尾市小中学生競書会】

市長賞 野村 遥香
教育委員会賞 伊奈葉由夏
鳥居 奈津
米丸 結菜
新美 京加
鹿村 梨花
石川 小柚

【人権を理解する作品コンクール】

ポスターの部 佳作 渡邊 菜子

寄贈

・祝餅 石川喜久雄 様
・大豆三十kg 石川 義一 様

・テント

卒業記念品